

戸田市公園リニューアル計画（案）

【概要版】

I. 公園リニューアル計画とは

1. 公園リニューアル計画策定の目的

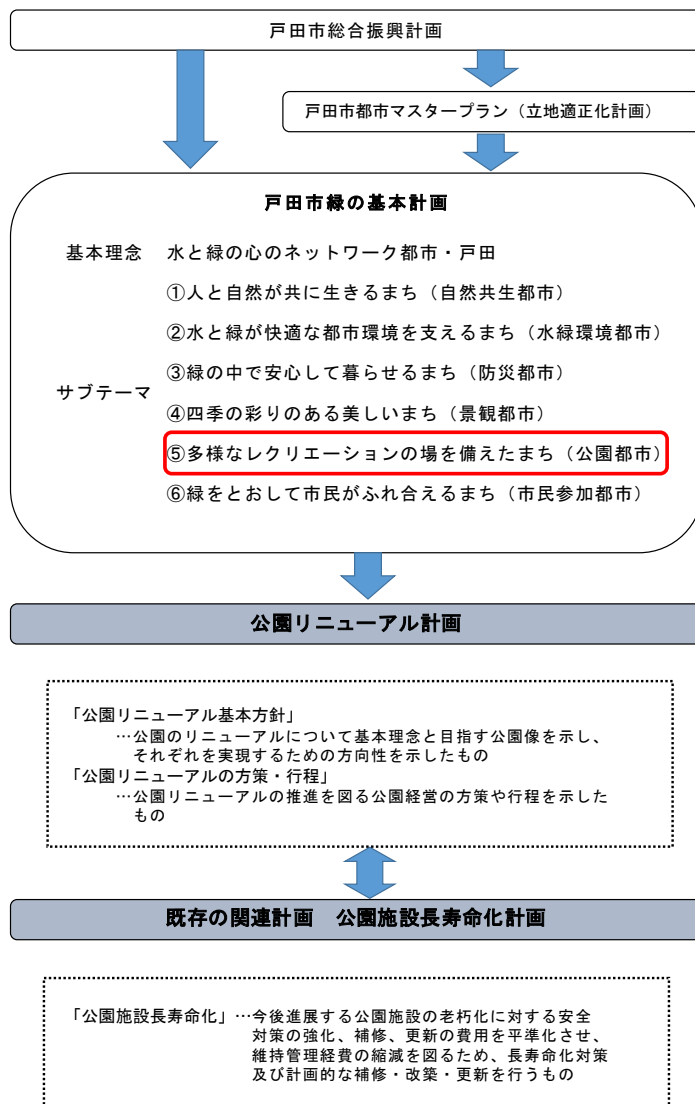
これまで、本市の公園施設は平成24年に策定した公園施設長寿命化計画や日常点検等に基づき、老朽化しているものや危険度が高いものから、その都度修繕や更新を行ってきましたが、都市機能や環境等の向上や、地域コミュニティ活動等の発展に寄与する視点ではない運営であることから、公園の老朽化と共に賑わいも衰えてきています。

そのため、変化する社会情勢や多様化するニーズに対応し、公園の在り方をハード面・ソフト面双方から見直していくことを目的として本計画を策定するものです。

あわせて、効果的・効率的な維持管理手法を検討していきます。

2. 位置づけ

公園リニューアル計画の上位計画として「戸田市緑の基本計画」があり、この中でサブテーマの一つとして掲げられている「多様なレクリエーションの場を備えたまち（公園都市）」の実現に寄与する計画となっています。



3. 公園リニューアルの基本理念

(1) 基本理念

本市の人口はこれまで増加を続け、令和元年には14万人を超えました。この傾向は今後も当面続きますが、最新の人口推計では2035年にピークを迎え、減少傾向に転じることが予測されています。また一方で、少子高齢化の進行は本市においても進み、2010年には人口構成比率で14.4%だった老年人口が2040年には28.8%にまで増加することが見込まれており、年齢構成が変化していきます。また、令和元年度から流行している感染症のため、with コロナ・after コロナへの社会を見据えた対応として、オープンスペースである公園の価値が見直されており、公園を取り巻く社会情勢が変化しています。国においても、公園利用に係る規制を緩和し、多様な主体が公園にかかわることで、そのポテンシャルを高める方向にあります。

これまで本市では町会をパートナーとして公園管理を行ってきましたが、多様化するニーズや社会情勢に対応し、より公園が活性化して魅力的なものとなっていくために、今後はより広く様々な団体や企業等ともパートナーシップを築き、ハード面・ソフト面の双方から、ともに取り組む公園づくりを目指していきます。

そこで、公園リニューアル計画の策定にあたり、「基本理念」を次のように定めます。

**楽しい！気持ちいい！とっても大好き！
オールとだで築く新たな公園づくり**

(2) めざす公園像

基本理念を踏まえて戸田市の目指す公園像を、次のとおりとします。

公園像 1 活動・活躍の場となる公園（楽しい公園）

これまで公園は制約が多く、また利用者が公園運営に関わることはありませんでした。しかし、賑わいのある魅力的な公園としていくためには、様々な主体とパートナーシップを築き、地域の住民・団体・企業等が主体的に活動の場として公園を利用し、より柔軟に活発に利用される必要があります。

公園運営を担う活動主体を掘り起し、積極的な公園利用を促すことで、賑わい、活力にあふれた楽しめる公園を目指します。

公園像 2 やすらぎの得られる安心・安全な公園（気持ちいい公園）

大部分が市街化区域となっている本市では、公園の緑は市民が身近に感じることできる貴重な自然です。自然環境を確保し維持していくことは、生物多様性に寄与するだけでなく、木陰での憩いや四季の移ろいを感じるなど、住民の生活に潤いを与えるために必要なものです。

また、公園が市民のやすらぎの場や憩いの場となるためには、安心・安全に利用できることが大前提となります。そこで、緑のなかで安心・安全に心からやすらぎを得られる気持ちいい公園を目指します。

公園像 3 郷土愛を醸成する公園（大好きな公園）

2035年以降に人口が減少していくことが予測されている本市では、既存住民の転出抑制を重視しなければなりません。市民が戸田市に住み続けたいと思われるためには、地域に愛着を持ち、地域に誇りを持ち、地域とつながりを持つことで、郷土愛を醸成する必要があります。そこで、地域を象徴するモノ・コトがあり、もっと地域を好きになる公園づくりを目指します。

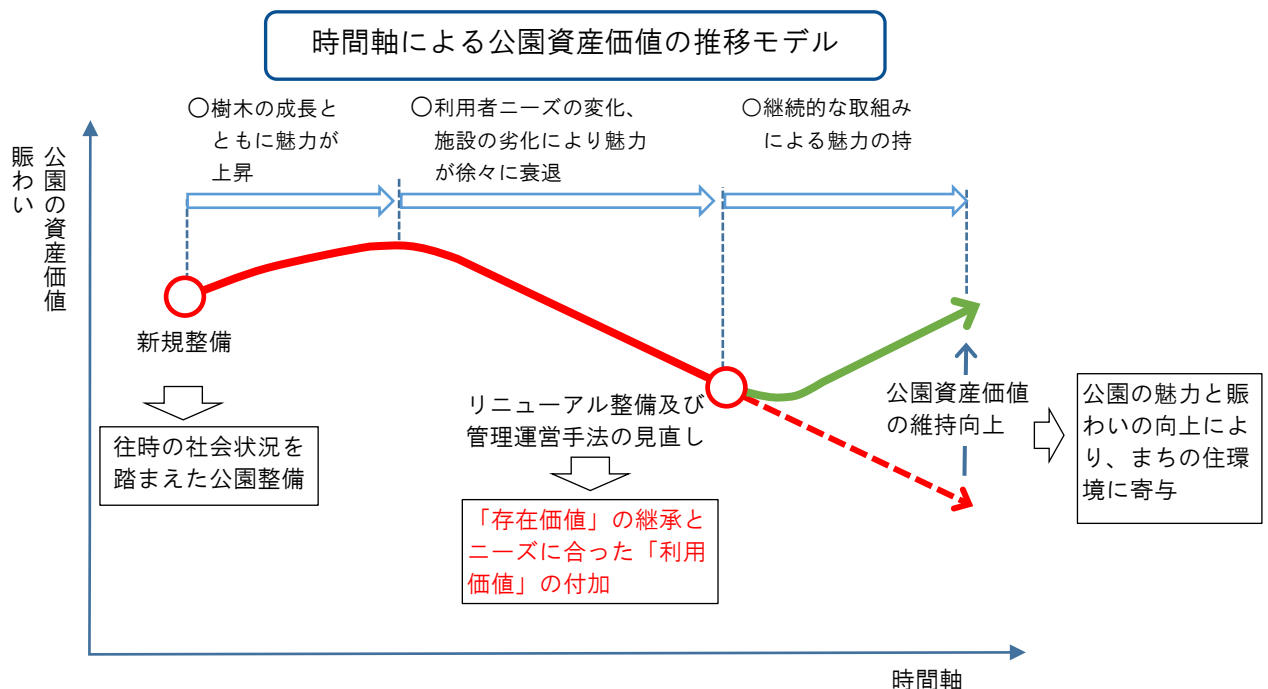
II. 策定のポイント

1. 公園の資産価値を高める

公園は、市民の暮らしに様々な効果をもたらすものであり、一般的にその効果は大きく「存在効果」と「利用効果」に分けられます。「存在効果」は、緑に覆われた空間が存在することによって都市機能や都市の環境等が向上する効果であり「利用効果」は公園を休養・休息や様々な余暇活動、スポーツ・運動、地域コミュニティ活動等に利用することでもたらされる効果です。それぞれの公園が持つ存在効果と利用効果は市にとっての資産です。時間推移とともに価値を劣化させるのではなく効率的に維持し、将来に引き継いで行くことが必要です。



（一般社団法人日本公園緑地協会「公園緑地マニュアル 平成24年度版」）



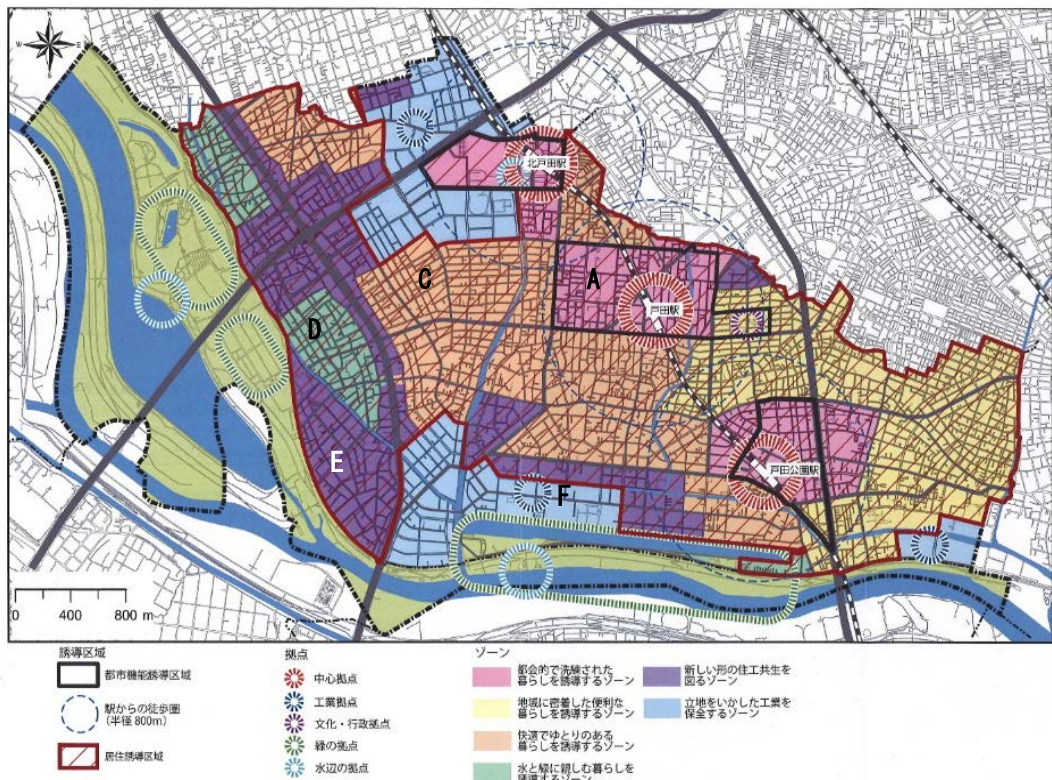
2. 地域の特徴にあわせた公園リニューアル

本計画の上位計画である「戸田市都市マスタープラン（立地適正化計画）」では、地域の成り立ちの違いから、地域ごとに特色ある市街地が存在しているとして、市内各地域の特徴をいかにしながら、都市活動を誘導する適切なまちづくりを推進していくために市内に6つのゾーンを設定しています。

公園のリニューアルに当たっても、まちづくりの観点からこの計画に適い、互換性を持つことが望ましいと考えられることから、同じゾーン設定をし、地域ごとに特色のあるリニューアルとしていきます。

居住ゾーン		
ゾーンの種類	ゾーン設定の考え方	想定されるエリア
A 都会的で洗練された暮らしを誘導するゾーン	・鉄道駅に近接し、ファミリー層等の主に若い世代をターゲットとした住宅や子育て環境の誘導により魅力的な住環境の誘導を図るゾーン ・市の中心である鉄道駅徒歩圏の地域に設定	戸田公園駅、戸田駅、北戸田駅の徒歩圏市街地
B 地域に密着した便利な暮らしを誘導するゾーン	・市の中心である鉄道駅徒歩圏の地域に設定鉄道駅に近接し、市街化が早くから進み、日常の暮らしを支える生活利便機能が整った利便性の高い、快適な住環境の誘導を図るゾーン ・JR埼京線の東側、商店等の生活利便施設が既に立地する地域に設定	上戸田、下戸田、中町、喜沢等
C 快適でゆとりのある暮らしを誘導するゾーン	・良質な住宅、子育て支援施設及び生活利便施設が一定のレベルで整い、様々な世代が交流しながら快適でゆとりのある暮らしを誘導するゾーン ・JR埼京線の西側、現在土地区画整理事業が進行する新曾や住居系の土地利用が中心で多様な形式の住宅が共存する地域に設定	本町、新曾、笹目、美女木等
D 水と緑に親しむ暮らしを誘導するゾーン	・市街地内の公園、河川敷の公園等の自然環境に親しみながら暮らすことができる住環境の誘導を図るゾーン ・荒川の自然環境に近く、比較的ゆとりのある地域に設定	新大宮バイパスの西側
住工共生ゾーン		
ゾーンの種類	ゾーン設定の考え方	想定されるエリア
E 新しい形の住工共生を図るゾーン	・工業系や住居系の土地利用の方向性検討と併せて住工共生を進めるゾーン ・工場等の工業系と住居系の土地利用の混在度が高い地域に設定	美女木、笹目、氷川町、新曾南等
工業ゾーン		
ゾーンの種類	ゾーン設定の考え方	想定されるエリア
F 立地を生かした工業を保全するゾーン	・都心に近い立地を生かした事業活動が可能な工業地の保全を図るゾーン ・第2次戸田市都市マスタープラン(改訂版)の土地利用方針において工業地として位置付けられすでに大規模な工業系事業所が集積する地域に設定	大字美女木、笹目、北町、新曾南、川岸等

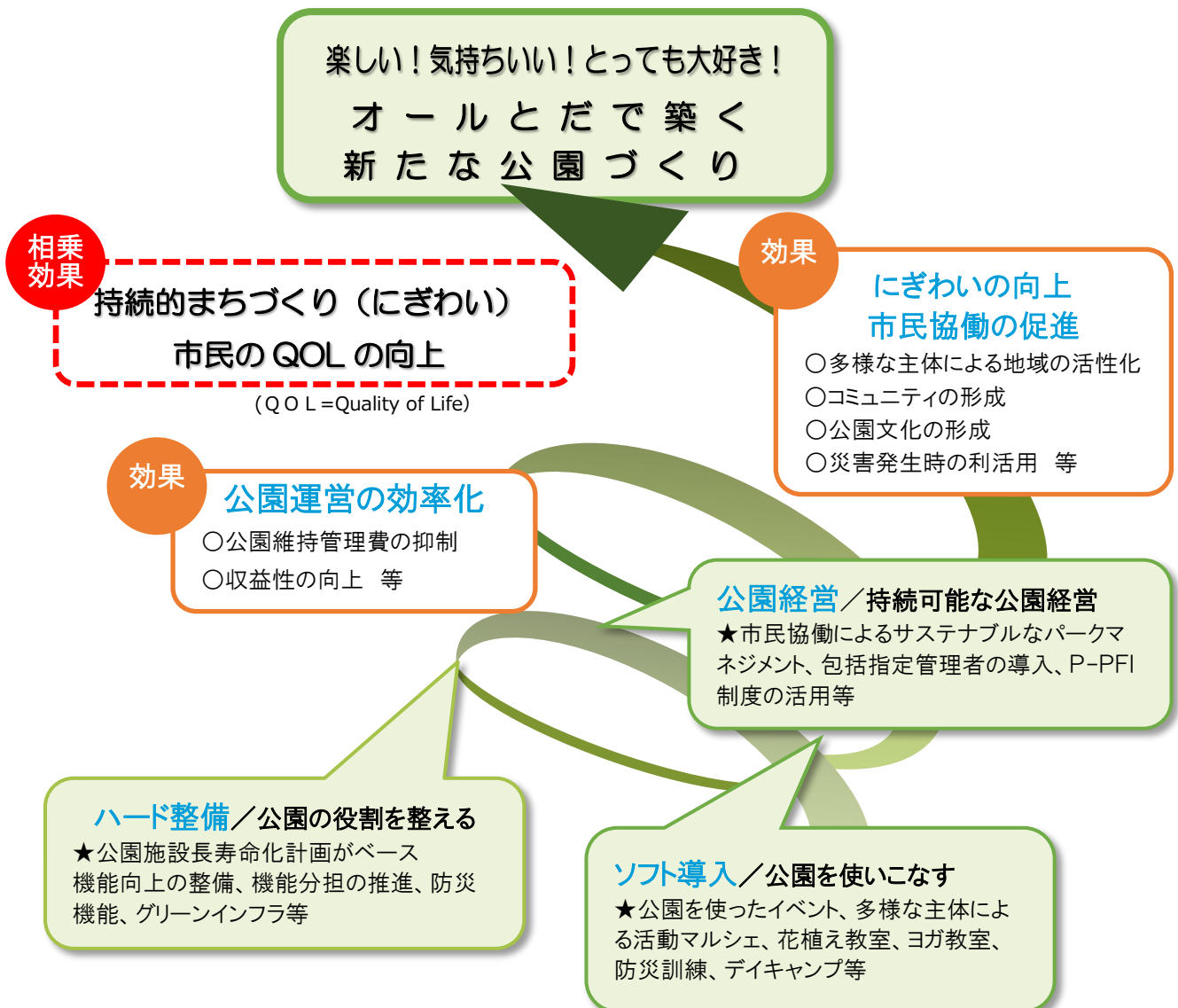
居住誘導区域・都市機能誘導区域重ね図



3. 公園リニューアルの推進に向けて

既存の公園のポテンシャルを活かし魅力を引き出すことにより、様々な利用者が快適に安全安心に公園という場所を楽しむことができるように、さらに次世代に引き継いでいく地域の財産として公園を守り育てていくための基本的な考え方を示します。

公園の基本的役割を高めるリニューアルの考え方	
1. 公園の役割・機能の整理	地域カラーを引き出す
2. ソフト導入	公園を使いこなす
3. ハード整備	公園の役割を整える
4. 管理・運営の改編	持続可能な公園経営

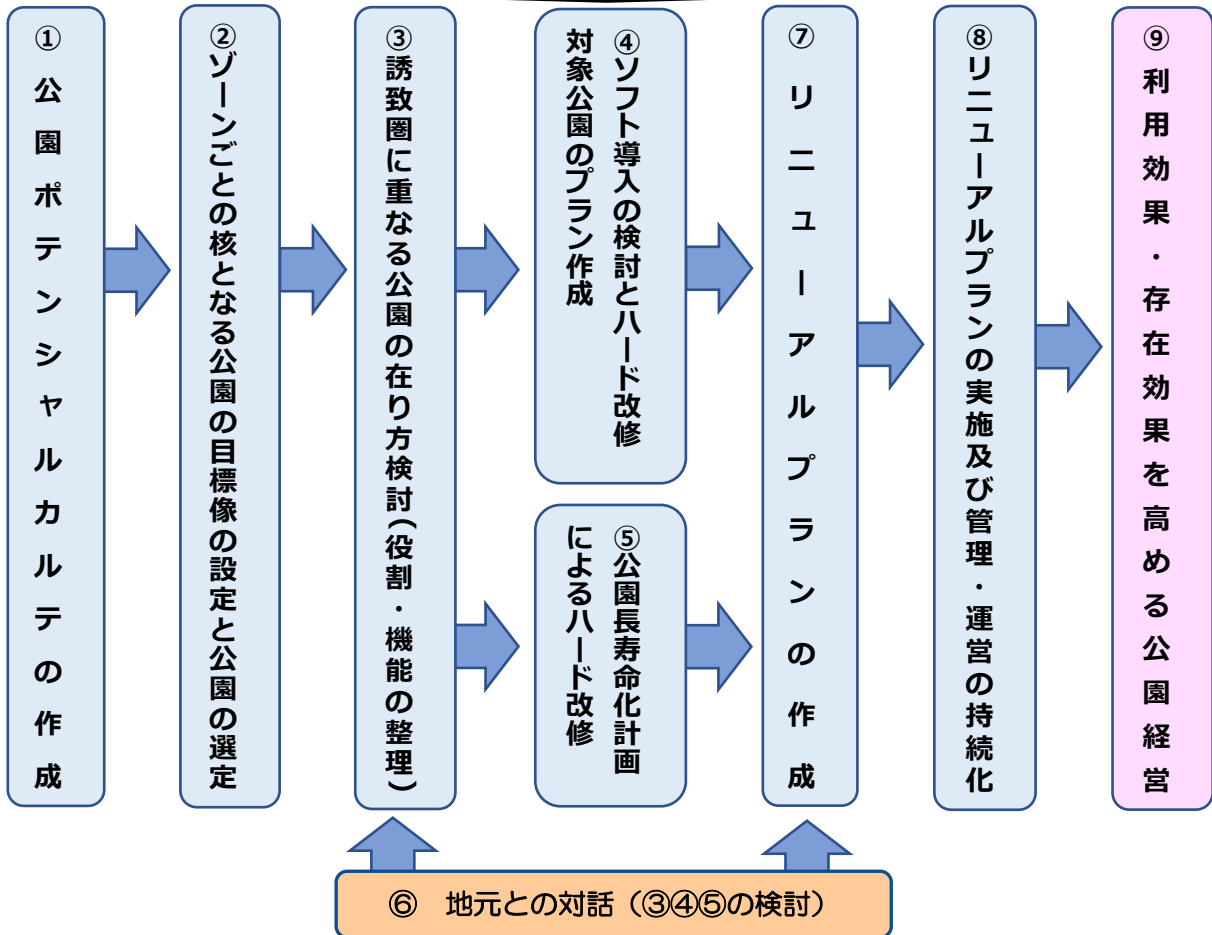


Ⅲ. 公園のリニューアルの方策

1. 公園リニューアルのプロセス

市民協働により、ハード整備とソフト導入を図り、公園をリニューアルします。

持続可能な公園経営：市民協働によるサステナブルなパークマネジメントの構築



2. 公園リニューアルの方策

公園リニューアルはソフト導入をメインとして、ハード整備、管理・運営の改編を含めるものとします。

公園の役割・機能の整理の考え方

1. 公園ポテンシャル発揮の作成

個々の公園の魅力を発見

2. 核となる公園等の設定

公園像や方向性の認識

3. 役割・機能の整理

公園の個性を引き出す

ソフト導入の考え方

1. 魅力の創出

公園のポテンシャルを活かす

2. 多様な主体の参加

地域のポテンシャルを活かす

3. 回遊・連携による広がり

賑わいをつなぐ

ハード整備の考え方

1. 機能の集約と分担

公園の魅力を再構成する

2. ソフトの補完

ソフトを補完するための再整備

3. 安全性の確保

長寿命化計画を考慮する

管理・運営の改編

1. 協働

市民・事業者・行政のつながり

2. コミュニティ形成

地域のつながり

3. 人材育成

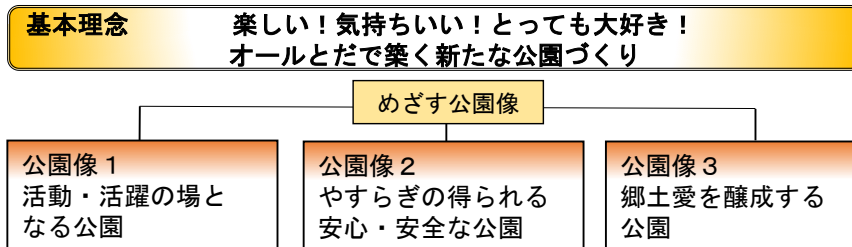
次世代へのつながり

3. 公園リニューアルのロードマップ

公園リニューアル計画の基本理念の実現を目指して、公園の賑わいと資産価値を高める公園経営に改革し、市民協働で、公園の存在効果と利用効果を高めるソフト導入とハード整備を図ってリニューアルすることで、まち全体のにぎわい等に寄与します。

公園リニューアル計画

■公園リニューアル基本方針



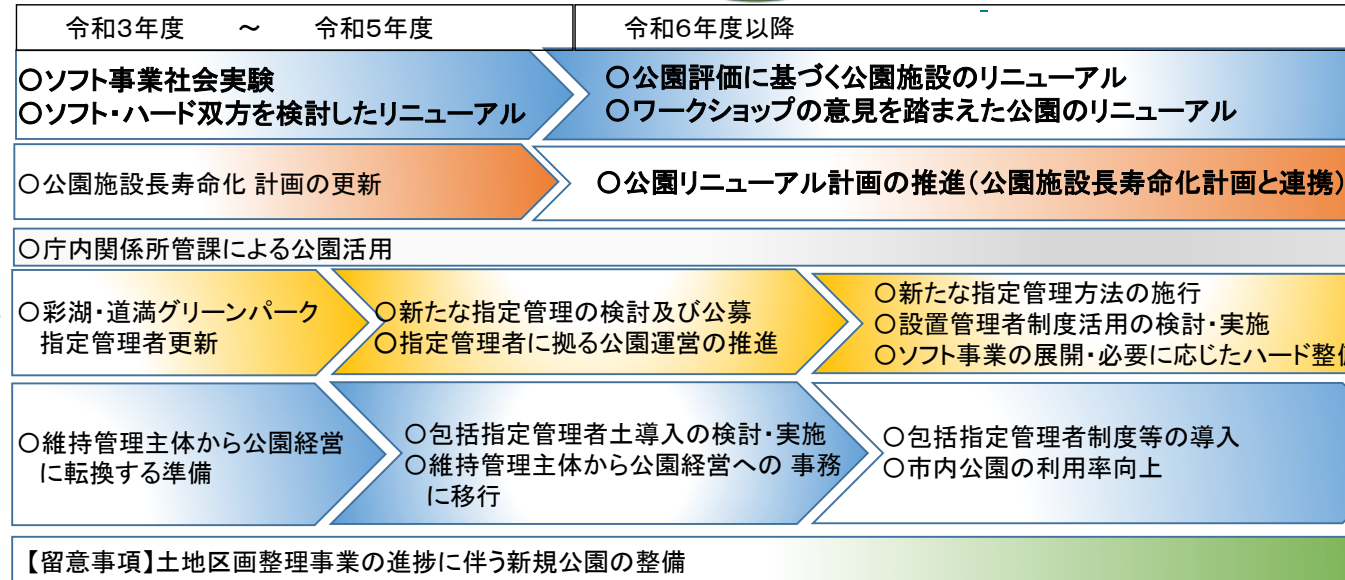
【相乗効果】
 ○まち全体のにぎわいに寄与
 ○都市景観の潤いと秩序に寄与

【効果:公園運営効率化】
 ○公園維持管理費の抑制
 ○収益性の向上

【効果:にぎわいの向上】
市民協働の促進
 ○多様な主体による地域の活性化
 ○コミュニティの形成
 ○公園文化の形成
 ○災害発生時の利活用

■公園リニューアル計画(概要・ロードマップ)

【公園リニューアル計画】
 公園の賑わいと資産価値を高める**公園経営**
 市民協働で、公園の存在効果と利用効果を高める**ソフト導入とハード整備**を図ってリニューアル



基本理念・公園像の実現